

ト式
ーシャ
シ

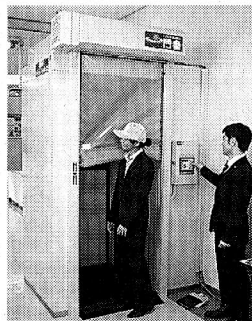
気密性高め用途開拓

小松電機産業 半導体工場など

【松江】シート式シャッター大手の小松電機産業（松江市、小松昭夫社長）は気密性を高めた新商品「門番・Gシリーズ」を写真を開発、6月に発売する。半導体工場など新たな用途を開拓するほか、海外でも拡販をす。新商品の追加でシート式シャッター全体の売

り上げを2011年3月期に21億円（前の期比23%増）に増やす。シートと枠の密着度を強化することなどで、従

来の「KVシリーズ」に比べて気密性を1・5倍に高めた。開閉速度は毎秒最大3層（従来は2層）。作業車などが接触した場



合はシートが外れる仕組みにしており破損を防げる。外れても簡単に復元

「エアシャワー」など新たな用途を開拓する。ポタンに触れずスイッチを

できる。価格は高さと同幅がそれぞれ3層の標準的な商品で約90万円。

機密性を高めたことにより、半導体工場の入り口の

入れられるため、従来の食品、薬品、印刷業界にも拡販する。

海外では中国、韓国で拡販を目指す。近くソウルに営業拠点を設置するほか将来は中国での現地生産も検討する。

シート式シャッターは工場や倉庫のスチール製のシャッターの内側や、間仕切りなどに使う。高速開閉できるので冷暖房効率を高めて二酸化炭素（CO₂）排出を抑制できる。外気やほこり、虫の進入も防ぐ。同社は85年の発売後、累計で12万台販売した。